



青葉山に、音が咲く。

第13回青葉山コンサート

日時：2021年11月26日（金）

17:00 開場 17:30 開演

場所：青葉記念会館 1F ロビー

主催：青葉山コンサート実行委員会

後援：東北大学 工学研究科・工学部

情報科学研究科

第 13 回 青葉山コンサート

前回、第 12 回青葉山コンサートより、かれこれ 1 年 10 か月ぶりの開催となりました。こうしてまたコンサートが開けることは本当にありがたい。紅葉散る季節ではありますが、我々音楽愛好家にとっては、まさに「青葉山に音が咲く」、長い冬を耐えて春に向かって咲く花のような気持ちです。今回のプログラムでは、学部学生から、事務職員、教員、名誉教授まで東北大学に関係する多彩なメンバーが、クラシックの名曲を中心にさまざまな曲を演奏いたします。このひととき、みなさまと音楽する喜びを分かち合うことができればこんなうれしいことはありません。どうぞごゆっくりお楽しみください。

実行委員 村田 智

開会のあいさつ 工学研究科長 湯上浩雄

プログラム

●ショパン

ワルツ 第 19 番 イ短調 KK IVb/11

星めぐみ(Pf 環境科学研究科職員)

曲は 3 部形式で A の部分が 16 小節、B の部分が前半 8 小節、後半 16 小節でもう一度 A の部分が暮れ返される。ショパンのワルツを通してわれわれは当時のパリのサロンでの舞踏会に集う人々が享受したようなエスプリとニュアンスに満ちた音楽を味わうことができる。(全音ショパンワルツ集解説より)

●バッハ

平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻 前奏曲とフーガ 八長調

モーツァルト

ピアノソナタ 二長調 KV 576 から第 1 楽章 Allegro

井樋慶一(Pf 生命科学研究科研究員)

八長調の平均律は何度聴いても飽きることなく弾くたびに新たな発見があります。二長調ソナタはモーツァルト最後のピアノソナタでバッハの影響で対位法的な手法が用いられています。

●シューマン

幻想小曲集 Op.73

1. 静かに、感情を込めて、2. 活発に、軽やかに、3. 急速に、燃えるように

村田 智(Vc 工学研究科教員), 阿部玲子(Pf ゲスト)

シューマン 38歳のときわずか2日で作曲された。当方の合わせ練習もわずか1日、それでどうにかなることを祈るしかない。互いに関連する3つの部分が続けて演奏され、うまくいくと最後にカタルシスが味わえる。

休憩(換気)

●ソル

超初心者のためのハ長調の練習曲集

川又政征(Gt 工学部・工学研究科同窓生)

フェルナンド・ソル(1778-1839)はスペイン・バルセロナ生まれの作曲家・ギター奏者です。古典派の様式の傑作を多数残しており、ギターのベートーベンとも言われています。今回の演奏曲はソルの多数の練習曲からとりわけ平明なハ長調の曲を選んだものです。ソルのギター曲はどれもみな味わい深く、人間愛にあふれ、人に希望を与えてくれます。

●ショパン

ワルツ 第6番 変二長調 Op.64-1 子犬

プレリュード 第15番 変二長調 Op.28-15 雨だれ

南 和馬(Pf 理学部物理学科2年)

子犬のワルツは、その名の通り子犬が戯れあっている様子を表した曲です。2匹が互いの尻尾を追いかけぐるぐる回っているようなイメージで弾きたいです。雨だれは、病をこじらせたショパンが、嵐の夜に妻の帰りを1人待つ曲です。妻との思い出や孤独への不安が代わる代わる押し寄せる心情を表現できたらと思います。

●ドヴォルザーク

スラブ舞曲 第8番 変イ長調 Op.72

阿部玲子(Pf ゲスト), 中田俊彦(Pf 工学研究科教員)

1886年に出版されたスラブ舞曲第2集。ゆるやかな3拍子の踊りは、片田舎の牧歌的な心地よさを与えてくれます。遠い彼方を想って夢見るような世界を、連弾でお聴きください。

●Harold Arlen

Over the Rainbow

佐藤達也(Pf 情報科学研究科OB(東北福祉大学・教員))

1939年のミュージカル映画「オズの魔法使」で Judy Garland が歌った。邦題は「虹の彼方に」。スタンダードナンバーとして不動の地位を築いている。今回は、ジャズの題材としてこの曲を取り上げ、ピアノで演奏します。

休憩(換気)

●リスト

パガニーニ大練習曲集 第3曲「ラ・カンパネラ」 嬰ト短調 S.141 R.3b

田中智也(Pf 工学部機械知能・航空工学科2年)

イタリア語で「鐘」という意味のあるこの曲は、フランツ・リストによって書かれた練習曲です。この曲は、パガニーニのヴァイオリン協奏曲第2番第3楽章のロンド「ラ・カンパネラ」の主題を編曲して書かれました。初版の「パガニーニによる超絶技巧練習曲集」の第3曲と比べ、高音域を駆使したよりきらびやかな音楽となっています。

●ショパン

バラード 第4番 へ短調 Op.52

工藤康大(Pf 工学部化学・バイオ工学科4年)

ショパンの「バラード」は全4曲からなり、詩人アダム・ミツケヴィチの詩からインスピレーションを得て作曲されたと言われている。第4番は、穏やかな序奏から始まり、哀愁に満ちた第1主題が続き、悲しみ、苦しみ、温もり、希望、葛藤を感じることができ、悲劇的なコーダで結末を迎える。

青葉山コンサート実行委員会
工学研究科 教授 村田 智・中田俊彦・茂田正哉, 准教授 中村 肇
理学研究科 技術専門職員 中山 貴史
工学部・工学研究科同窓生 桑野博喜・川又政征・田原靖彦
お問い合わせ: aobayama-contact@googlegroups.com

青葉山コンサートホームページ
<https://web.tohoku.ac.jp/eng/mirai/aobayama/>

青葉記念会館のグランドピアノは, 震災後5年を経た 2016年3月,
心の復興のために機械系同窓会が寄贈したものです。
(使用可能時間: 平日 9:30-19:30)
協力: 工学部事務部 教務課学生支援係, 施設管理室

プログラム・ポスターデザイン 小林雅幸
ロゴデザイン 笹川瑛貴

